Panasonic®

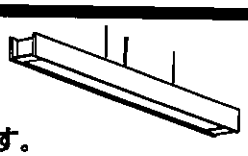
取扱説明書

住宅用照明器具(ペンダント)

保管用

施工説明付き

品番 HFD2674E



お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1〜2ページ)を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店、電器店に依頼してください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

必ず守る

異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

■器具を改造したり部品交換をしない

分解禁止

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■ランプは器具表示のものを使用する

必ず守る

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■布や紙などの燃えやすいものをかぶせない

禁止

火災のおそれがあります。

⚠注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

必ず守る

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

■本体の取り外しは工事店・電器店に依頼する

必ず守る

本体の取り外しには資格が必要です。

■ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る

必ず守る

通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

■点灯中や消灯直後のランプやその周辺にさわらない

接触禁止

守らないとやけどの原因となることがあります。

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない

必ず守る

器具の真下にストーブなどを置かないでください。火災の原因となることがあります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	85W	32形Hf蛍光灯 FHF32 2本

工事店様へ　施工の前にはよくお読みのうえ、正しく施工してください。
取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

施工説明

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

■配線器具及び照明器具の取り付けは、説明書にしたがい確実に行う

必ず守る　取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■交流100ボルトで使用する

必ず守る　過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

■電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む

必ず守る　差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■次のような配線器具には取り付けない

禁止　火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

- **欠け・ヒビ割れなど破損しているもの**
- **がたつくもの**
- **電源端子露出タイプ**

●工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には資格が必要です。）

■次のような場所には取り付けない

禁止　火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

- **指定の傾斜角度を超える傾斜天井**
- **補強材のない薄い面（ベニヤ板や石膏ボードなど）**
- **浴室などの湿気の多い場所や屋外**

●この器具は天井面取付専用です。
●この器具は非防水です。防湿、防雨型ではありません。

⚠注意

■温度の高くなるものの上に取り付けない

禁止　レンジ等温度の高くなるものの上に取り付けると、火災の原因となることがあります。

■付属の梱包材は取り除いて使用する

必ず守る　そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

■調光器と組み合せて使用しない

禁止　調光機能付壁スイッチなどの調光器と組み合せて使用しないでください。火災の原因となることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。

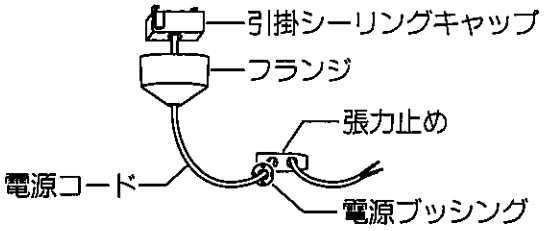
付属部品の確認　施工する前にまず付属部品をご確認ください

□配線器具（丸型フル引掛シーリング(1個)）

□引掛シーリング用木ネジ(2本)

B 付属の電源コードを使用して取り付ける場合で、配線器具の交換が必要な場合に使用します。
P.3「各部のなまえ」参照

□電源ブッシング付電源コード（引掛シーリングキャップ付)(1個)



B 付属の電源コードを使用して取り付ける場合に使用します。

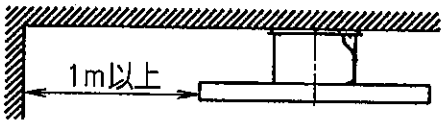
□取付板用木ネジ（2本）

HFD2674E-T3B1

取付前のご注意

■取付位置についてのご注意

・ランプ交換時のパネルの着脱のため、壁面から1m以上離してください。



■傾斜天井に取り付ける際のご注意

・指定の傾斜角度を超える天井には取り付けできません。

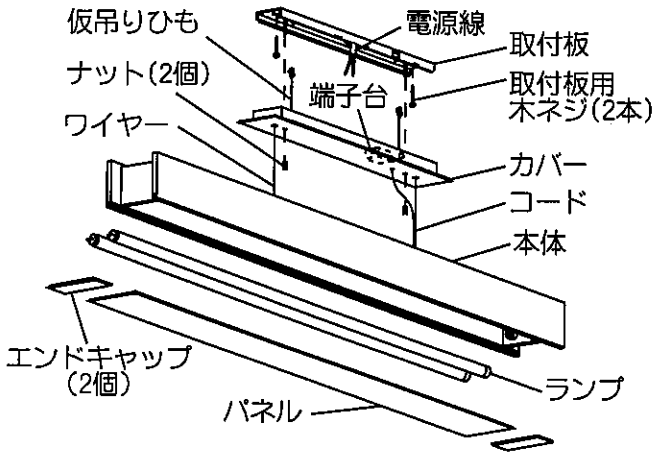
傾斜方向に取り付ける場合	傾斜角度に直角に取り付ける場合

（正面から見た場合）

（横から見た場合）

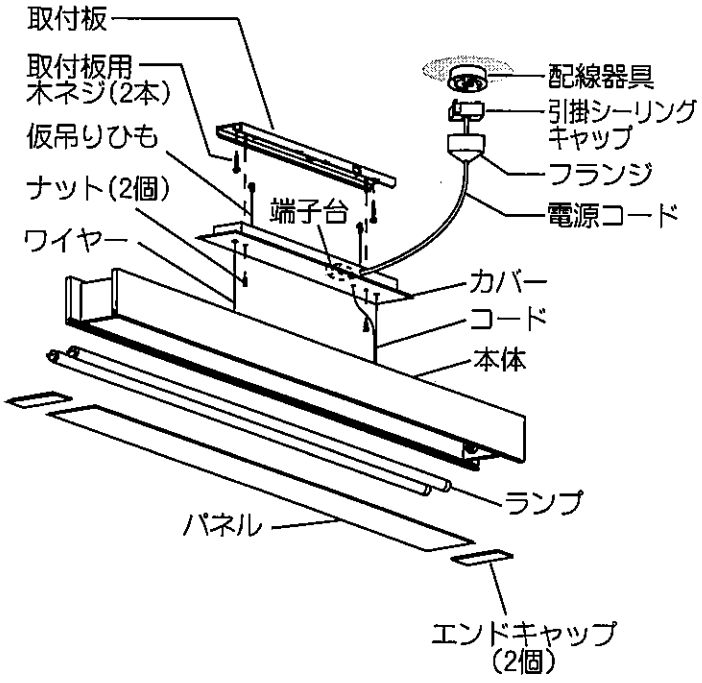
各部のなまえ

A 直接、電源線を接続して取り付ける場合



同梱の配線器具は使いません

B 付属の電源コードを使用して取り付ける場合



取り付けの前に
天井の配線器具を確認してください

取り付けできる配線器具　同梱の配線器具は使いません

角型引掛
シーリング
品番:WG1000

丸型フル
引掛シーリング
品番:WG5015, WG5005

丸型引掛シーリング
品番:WG4000, WG4420
WG4005, WG4425
WG1500

フル引掛ローゼット
品番:WG6005

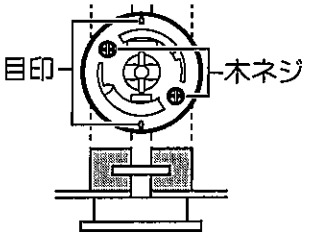
引掛埋込ローゼット
品番:WG6000, WG6420
引掛露出ローゼット
品番:WG6130

引掛埋込ローゼット
(ハンガーなし)
品番:WG6001

上記6タイプ以外の配線器具

同梱の配線器具に取り替える

（工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。交換には資格が必要です。）



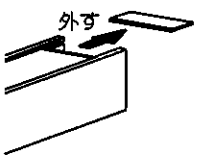
⚠警告

目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付けてください。
守らないと、落下によるけがのおそれがあります。

照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

A 直接、電源線を接続して取り付ける場合

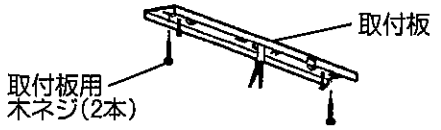
1 エンドキャップを外す



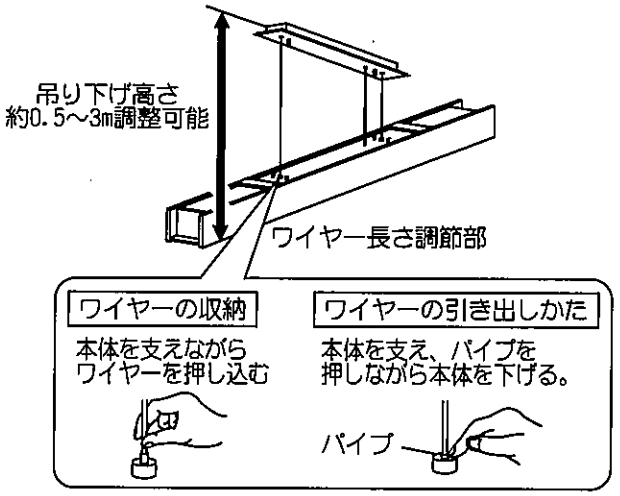
2 パネルを引き抜く

3 取付板用木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

・取り付けピッチ:66.7mm、83.5mm、450mm

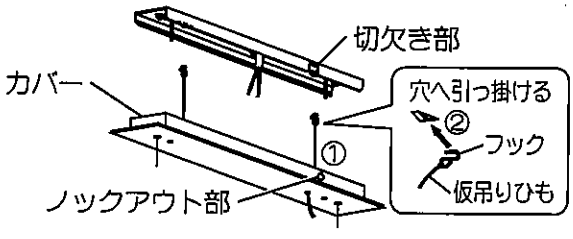


4 吊り下げ高さにワイヤーを調節する



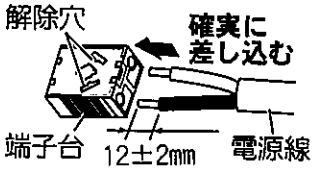
5 カバーを仮吊りする

①取付板の切欠き部とカバーのノックアウト部の方向を合わせる。
②カバーの仮吊りひものフック(2個)を取付板の穴へ引っ掛ける。



6 端子台に電源線を接続する

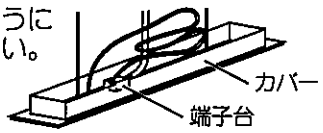
・適合電線　VVF φ1.6、φ2.0単線



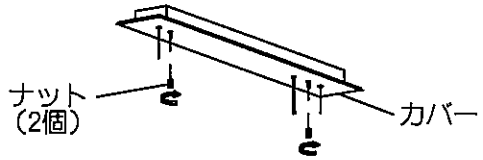
器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

7 カバーに余ったコードを収納する

・端子台に乗り上げないように
カバーに収納してください。

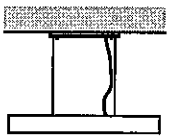


8 取付板にナット(2個)でカバーを取り付ける

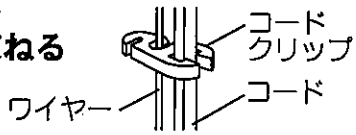


9 ワイヤーの長さを調節する

本体が水平になるように、
左右のワイヤー長さを微調節する。

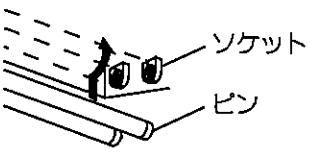


10 コードとワイヤーをコードクリップで束ねる

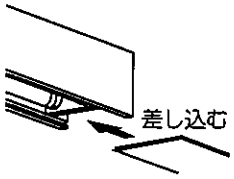


11 ランプを取り付ける

両側のソケットに
ピンを差し込み90度回す。

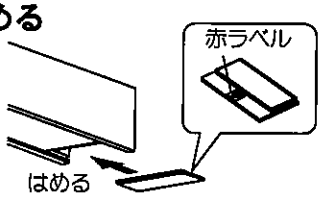


12 パネルを差し込む



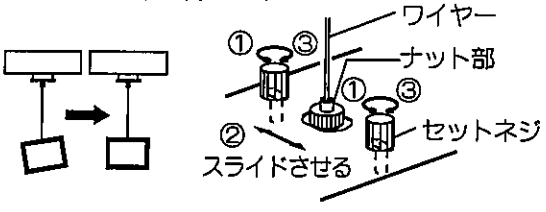
13 エンドキャップをはめる

赤ラベルを上側にして
はめる。



14 本体の傾きを調節する

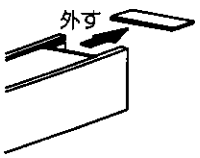
・本体が傾いている場合は調節して水平にしてください。
①セットネジをゆるめる。
②本体を支えながら水平になる方向にナット部をスライドさせる。
③セットネジを締め付ける。



HFD2674E-T4D

B 付属の電源コードを使用して取り付ける場合

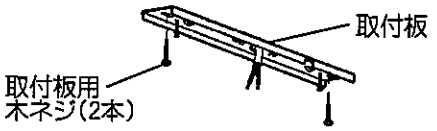
1 エンドキャップを外す



2 パネルを引き抜く

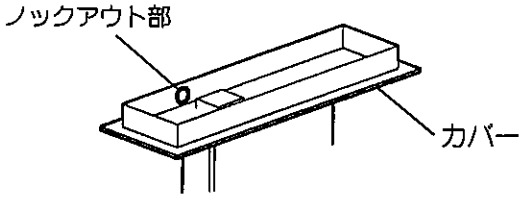
3 取付板用木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

・取り付けピッチ:66.7mm、83.5mm、450mm



4 カバーに電源コードを通すための穴を開ける

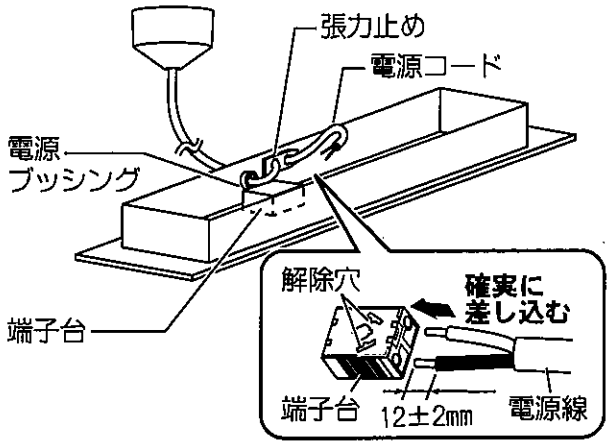
ドライバー等で、カバーのノックアウト部を打ち抜く。



5 電源コードを端子台に接続する

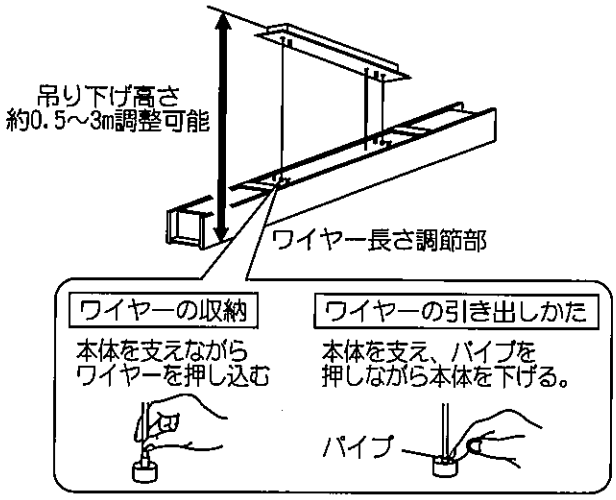
①電源コードと張力止めをノックアウト穴に通す。
②電源ブッシングをノックアウト穴に取り付ける。
③電源コードを端子台に接続する。

・電源ブッシングを取り付けない場合は、火災・感電の原因となります。



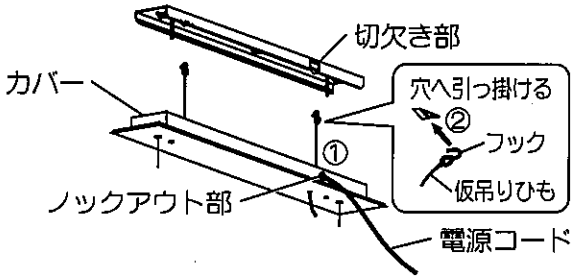
器具の取り替え等で電源線を外す場合は、
マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら
電源線を引き抜く。

6 吊り下げ高さにワイヤーを調節する



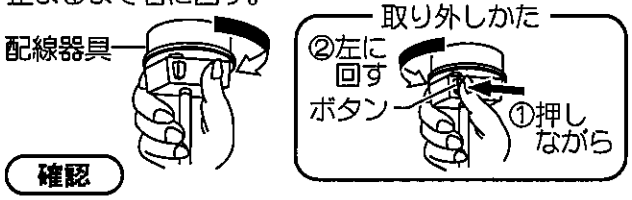
7 カバーを仮吊りする

①取付板の切欠き部とカバーのノックアウト部の方向を合わせる。
②カバーの仮吊りひものフック(2個)を取付板の穴へ引っ掛ける。



8 引掛シーリングキャップを取り付ける

止まるまで右に回す。



確認

取り付け後、ボタンを押さずに左に回し、
外れないことを確認する。

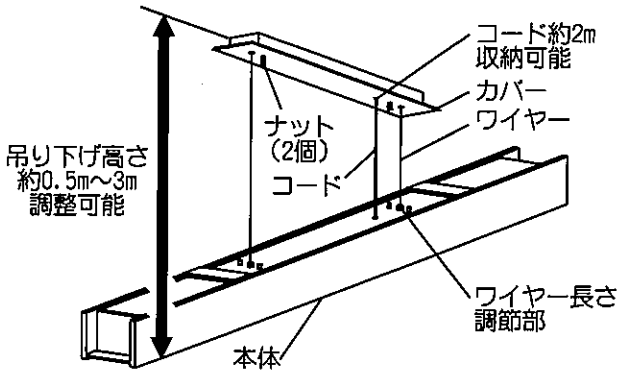
9 天井面にフランジを押し上げる

P. 4の 7 ～ 14 の手順で取り付ける

使用上のご注意

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
●電波の弱い場所(山間部、鉄筋建物内など)では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに影響することがあります。
その場合はテレビやラジオを照明器具から離してください。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●冬場など周囲の温度が低い場合、明るくなるまで時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。

器具の高さを調整する



■器具を上げる場合

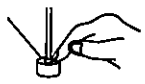
1. **ワイヤーを収納する**
   本体を支えながらワイヤーを押し込む。

2. **コードを収納する**
   ①ナット(2個)を外し、カバーを外す。
   ②P.4「7 カバーに余ったコードを収納する」、「8 取付板にナット(2個)でカバーを取り付ける」を参照しもとにもどす。

■器具を下げる場合

1. **コードを引き出す**
   ①ナット(2個)を外し、カバーを外す。
   ②P.4「7 カバーに余ったコードを収納する」、「8 取付板にナット(2個)でカバーを取り付ける」を参照しコードを引き出す。

2. **ワイヤーを引き出す**
   本体を支え、パイプを押しながら本体を下げる。

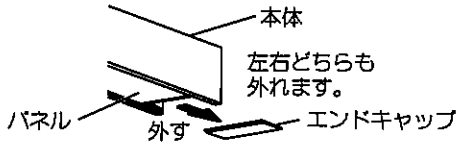


ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。ランプを交換してください。
●パナソニック製ランプをお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。
●ランプが1本でも寿命になると、2本のランプは正常点灯しません。寿命のランプを交換すると2本とも正常点灯します。

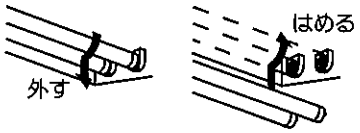
1 エンドキャップを外す



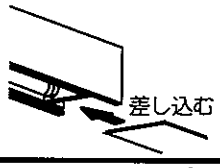
2 パネルを引き抜く

3 ランプを交換する

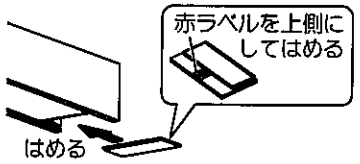
・取り外し、取り付けは
ランプを90度回す。



4 パネルを差し込む



5 エンドキャップをはめる



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・使いかた・お手入れ などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	(　　)　－
お買い上げ日	年　月　日

●保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご連絡ください。保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	住宅用照明器具
●品　　番	○○○○○○
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器については3年間です。またランプなどは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年
＊当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012
HFD2674E-T3A3
N1005-030112